

地域経済協力を通じたアフリカ地域のための貿易投資促進
Facilitating Trade and Investment for African Countries through Regional Economic Cooperation

対象国の条件 : アフリカ地域 (サブサハラ)

研修コース番号 : 201984848-J002

案件番号 : 201984848

主分野課題 : 民間セクター開発/貿易・投資促進

副分野課題 :

使用言語 : 英語

案件概要

本研修では、アフリカ各国が、東南アジア(ASEAN)経済圏の事例等から地域経済協力・統合の重要性を理解し、アフリカ域内を含めた広範囲の地域を「経済圏」と捉え、自国の比較優位を活かしながら戦略的に貿易・投資促進を行うことを検討する。また、本邦研修に続き、ASEANの本部を擁し、東南アジア経済圏の域内協力を一つの要因として現在の発展の素地を築いたインドネシアで事後研修を行い、本邦研修で学ぶ理論の深化を図る。

目標/成果		対象組織/人材	
<p>【案件目標】 自国及びアフリカ地域がおかれている貿易・投資に係る現状との理解促進を図る。また、日本や環インド洋経済圏に位置する国々の貿易・投資促進の事例を通じて、地域経済協力・統合の概念及び具体的な取り組みを学び、自国の優位産業分析を行った上で、産業開発に資する貿易・投資強化のための政策・施策の検討を行う。</p> <p>【成果】 1. 自国産業の比較優位（強み）について分析し、貿易投資の促進に必要な政策・施策上の課題について説明できる。 2. 国際貿易・投資の理論と動向、日本・ASEAN・インドネシアの事例を念頭に、地域経済協力（及び統合）と国際分業の重要性を説明できる。 3. 上記の自国産業の比較優位の分析と事例研究にもとづく地域経済協力の重要性の理解から、具体的な貿易・投資促進のためのアクションプランがまとめられる。 4. 上記のアクションプランの実施において、自身の所属先だけでなく、他の政府機関、国際機関との連携について説明できる。</p>		<p>【対象組織】 産業政策を担当する組織（開発庁、計画庁、工業省、貿易省、投資庁など）。</p> <p>【対象人材】 産業政策に関する政策決定レベル（準高級が望ましい）。</p>	
内 容		本邦研修期間	2019/9～2019/9
<p><事前活動> 事前レポートの提出</p> <p><本邦研修（1週間）> -講義：貿易・投資促進の基礎的理論・概念と国際的な動向、地域経済統合及び国際分業体制の構築、グローバル・バリュー・チェーンと物流 -視察：神戸市（神戸市の企業誘致の取り組み） -討論・発表：アフリカに進出している日本企業との意見交換会、自国のプレゼンテーション</p> <p><インドネシア在外補完研修（1週間）> -講義：ASEAN域内における貿易・投資関係、インドネシアとアフリカの貿易・投資関係 -視察：ASEAN事務局、インドネシア政府（経済調整省、投資調整庁、工業省、輸出研修センター）、トヨタ自動車、インデックス・アロマ社、等 -討論・発表：アクションプランを含む最終レポートの発表</p> <p><事後活動> 最終レポートの所属機関への提出・共有</p>		担当課題部	産業開発・公共政策部
		所管国内機関	JICA関西（業務二）
		関係省庁	
		実施年度	2019～2021
主要協力機関	調整中		
特記事項及びホームページ	コースリーダーは、京都大学大学院・高橋基樹教授		